

2013年7月10日

各 位

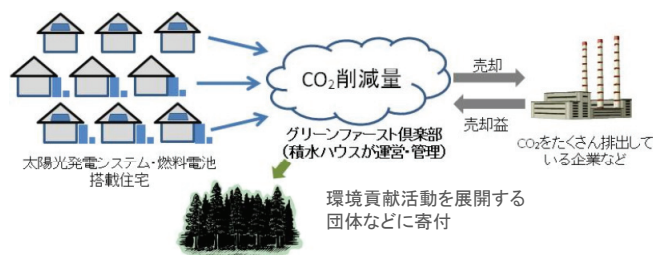
 積 水 ハ ウ ス 株 式 会 社
 積水ハウスリフォーム株式会社

民間事業者として国内最大の「国内クレジット」認証取得

～太陽光・燃料電池搭載住宅のCO₂排出権取引売却益を環境貢献活動に寄付～

積水ハウス株式会社（本社：大阪市北区、社長：阿部 俊則、以下「積水ハウス」）が運営・管理する、国内クレジット制度に基づく「グリーンファースト倶楽部」では、積水ハウスと積水ハウスリフォーム株式会社（本社：大阪市北区、社長：黒木 大二、以下「積水ハウスリフォーム」）が住宅に設置した太陽光発電システムや燃料電池により削減されたCO₂排出量7,271トンを取りまとめ、第32回国内クレジット認証委員会において国内クレジットとして認証を受けました。このクレジットを用いた排出権取引による売却益は、環境貢献活動へ寄付いたします。

なお、当倶楽部開始からの通算7,544トンの削減量は、樹木の削減量に換算すると約53万本に相当し、プログラム型で認証を受けた事業の中では、2013年7月10日現在、国が取りまとめを行っている「グリーン・リンケージ倶楽部」に次ぐ、住宅業界最大で民間事業者としても国内最大の削減量となります。



CO₂削減効果

	認証日	合計
1回目	2012年5月28日	273 t-CO ₂
2回目	2013年7月9日	7,271 t-CO ₂
	合計	7,544 t-CO ₂

経済産業省・環境省・農林水産省が2008年10月から実施している「国内クレジット制度」は、温室効果ガスの排出削減と省エネ活動を推進することを目的として、温室効果ガス排出削減量を認証し、排出権取引等に活用できる制度です。かねてより地球温暖化防止活動に取り組んできた積水ハウスと積水ハウスリフォームは、この制度に基づき太陽光発電システムと燃料電池によるCO₂排出削減事業を企画し、2011年7月27日にプログラム型排出削減事業として承認を受けました。

併せて、事業主体となる「グリーンファースト倶楽部」（会員数17,108名、2013年2月時点）は、太陽光発電システムと燃料電池を設置した住宅オーナー様にご入会いただいております。現在も着実に会員数を増やしています。

積水ハウスは、2009年より安全・安心で高品質な住宅に太陽光発電システムや燃料電池を組み合わせ「快適性」「経済性」「環境配慮」を実現する環境配慮型住宅「グリーンファースト」の普及に取り組む、家庭から排出されるCO₂の削減を進めております。2012年度は新築戸建住宅のうち83.8%を「グリーンファースト」が占めるまでに至っており、太陽光発電システムを11,920棟に、燃料電池を8,095棟に搭載いたしました。さらに2013年4月には政府が2020年までに普及を目指す「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）」を先取りしたゼロエネルギー住宅「グリーンファーストゼロ」の販売を開始するなど、取り組みを加速しています。

また、積水ハウスリフォームでは、太陽光発電システムを搭載するリフォーム提案を積極的に推進しており、2012年度は6,058棟に太陽光発電システムを設置しました。

積水ハウスと積水ハウスリフォームは、エコ・ファースト企業として新たに始まる「J-クレジット制度」でも排出削減事業の運用を予定しており、持続可能な社会づくりに向け真摯に取り組んでいきます。

●本件に関するお問合せ先

積水ハウス株式会社 広報部

(大阪) TEL : 06-6440-3021 (東京) TEL : 03-5575-1740

